

日本庭園学会ニュース

The Academic Society of Japanese Garden News

NO.111

令和5年(2023年)

令和5年度(2023) 日本庭園学会
全国大会のご案内

発行 日本庭園学会(会長 大澤 伸啓)
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
東京農業大学 地域環境科学部
造園科学科 庭園技法材料科学研究室
TEL(03)-5477-2428(粟野 隆理事)

令和5年度(2023) 日本庭園学会全国大会のご案内

◆大会テーマ 「江戸の大名庭園～再生と未来～」

1. 全国大会概要

日程：令和5年(2023)6月3・4日(土・日)

会場：東京都内で調整中

*会場が確定次第、学会HPと次号の
学会ニュースに掲載する予定です

6月3日(土)：現地検討会、シンポジウム、
情報交換会

6月4日(日)：研究発表会、理事会、総会、
日本庭園学会授賞式・学会賞
受賞者講演

2. 大会趣旨

テーマ：「江戸の大名庭園
～再生と未来～」

かつて、江戸の街には1,000か所以上の大名庭園があったといわれているが、明治維新により多くの大名庭園は放棄され破壊されてしまった。わずかに残った庭園は、公共の庭園やホテルなどの民間施設の一部として残されるのみであった。しかし、それらの庭園も関東大震災、太平洋戦争によって構造物は焼失し、残されていた江戸の大名庭園の面影を失ってしまった。

浜離宮恩賜庭園等の都立庭園は、平成16年(2004)より遺構調査や史資料調査を行ないな

がら江戸の大名庭園を復元し次の世代に引き継いでいくことを目的とした事業が進められている。失われた江戸の大名庭園を復元していくことは、江戸の文化を今に再現することであり、それは次世代に継承すべき文化遺産であるということでもある。

江戸の大名庭園の復元はどのような形でどのように進められているのか、そして、復元された江戸の大名庭園を、価値ある施設として現在の人々に活用してもらうためにどのような取り組みが考えられるのか、経緯も含めて議論していきたい。

そして、現在、築地市場跡地では、江戸時代に名園と謳われた浴恩園の発掘調査が行われようとしている。江戸大名庭園の実態を解明する上でも貴重な調査になると思われる。今回はその、発掘調査の実態を少しでも明らかにできればと思っている。

3. 研究発表の募集について

◆申込み方法

令和5年度(2023)全国大会におきまして、研究発表を募集します。会員のみならずにおかれましては、ふるってご応募ください。

発表申込み期限：令和5年(2023)
2月28日(火)

発表者氏名・所属・題名・連絡先を明記し、発表概要(200字程度)を添付のうえ下記の「発表申込先」までお送りください。Eメールでお申込みください。

発表申込先: t3awano@nodai.ac.jp

栗野 隆 (東京農業大学地域環境科学部造園科学科)

※迷惑フォルダにメールが格納され、メール受信の確認が遅くなる場合がありますので、申込み後、1週間を経ても申込み確認の連絡がない場合は、下記問い合わせ先まで、電話もしくはファックスでお問い合わせください。

◆執筆要領

全発表者分を研究発表要旨集として印刷し、当日参加者に配布します。原稿はそのまま要旨集の版下とします。学会のHPの「会則等」のタブをクリックし、Wordの書式見本をダウンロードして作成をお願いします。

分量は、A4判で2ページもしくは4ページ、6ページ、8ページとします(奇数ページでの原稿は、受け付けませんのでご注意ください)。

なお、学会HPからダウンロードできない方は栗野隆までメールにてお問い合わせください。

発表要旨提出期限:

令和5年(2023)4月21日(金)

*** 本文版下原稿のメール提出期限**

◆問い合わせ先

栗野 隆

全国大会運営委員、

東京農業大学地域環境科学部造園科学科

〒156-8502

東京都世田谷区桜丘1-1-1

電話: 03-5477-2428

FAX: 03-5477-2625

Eメール: t3awano@nodai.ac.jp



浴恩園全図(圭次郎写し、明治17年、国会図書館所蔵)

令和4年度日本庭園学会関西大会に参加して

京都芸術大学歴史遺産学科 文化財保存修復・歴史文化コース3回生 浅川美月

令和4年度の日本庭園学会関西大会は、11月5日、6日の2日間の日程で開催された。初日はひと・まち交流館 京都・第5会議室において、午前中に5件の研究発表があり、午後は公開シンポジウム「近現代の二条城—継承・創出・保存—」が行われた。

公開シンポジウムでは、まず話題提供として今江秀史氏、近藤泰生氏、杉本宏氏の3名からそれぞれ研究報告があり、これらを踏まえた上でのディスカッションが行われた。二条城の歴史・庭園に関する最新の知見とその管理・活用方法が主な内容であり、新たな発見や価値観を共有することができた。

2日目は終日、現地検討会が行われ、実際に京都御苑と二条城を訪れて、現地を歩きながら前日のシンポジウム内容を振り返りつつ、どのように整備されているか、またどのように今後も整備活用すべきかを学んだ。

京都御苑では、まず京都御苑情報館内に展示されているジオラマを見学し、禁裏（京都御所）の周辺に営まれていた公家町が、明治維新後どのような経緯で京都御苑として整備されるに至ったのかについて学んだ。ここで注目した点は桂宮邸跡である。

桂離宮を営んだ八条宮家（のちに桂宮家に改称）は慶長10年（1605）に現在地に本邸を移転した。邸宅は幾たびかの火災によって焼失と再建を繰り返し幕末に至ったが、明治14年に宮家は断絶した。この頃、二条城も徳川家の手を離れ新政府が接管し、太政官代、京都府庁をへて明治17年から宮内省の所管となり、二条離宮となった。この時、本丸の建物は「大破」の状態であったため、残されていた旧桂宮邸の玄関・御車寄・御常御殿・御書院が本丸御殿として移築されたのである。

実際に現在の桂宮邸跡を訪れると、建物は全て失われているが、平面にて当時の邸宅の間取りが再現されており、その規模を感じることができた。しかし桂宮邸跡には庭園が現在も残されており、築山や遣水、園池の遺構を見学することができた。幕末、孝明天皇の内裏が嘉永7年（1854）に延焼した際、桂宮邸が仮内裏に充てられた。御常御殿を東から南に巡る遣水はこの時に新たに作庭されたものであり、御書院前の園池は従前からのものを改修したという。

建物の平面表示は令和4年春に環境省 京都御苑管理事務所によって整備が完成したばかりとのことである。庭園遺構の発掘調査も行われたとのことであり、今後のさらなる整備に期待したい。

続いて訪れた二条城は、慶長8年（1603）に徳川家康によって御所の守護と将軍の宿泊所として建てられた城であるが、建築当初から現在に至るまで、社会や時代によってその役割や機能は変わってきており、その度に庭園にも少しずつ手が加えられているようである。二条城内の庭園には、特別名勝二の丸庭園をはじめ、本丸庭園、清流園などがあり、それぞれ作庭年代や特徴が異なっていて、二条城の歴史を象徴しているといえる。

現在は令和2年度に策定された『史跡旧二条離宮（二条城）保存活用計画』に基づき庭園の植栽をはじめとする現状変更の対応がなされている。その管理する範囲の拡大に伴い二条城の職員での直接的な管理では手が足りず、平成22年度より直営管理と委託管理による併用にて二条城内の植栽を管理しているという。

現在、二条城庭園の管理における課題としては、樹木の老齢化や成長によって景観を損ねることや、文化財の毀損の恐れがあることがあり、その処理に当たっていかねばならない。そしてその処理のためや諸作業のための施設の確保を、来城者への配慮も考慮しつつ更新していく必要もあるようだ。

さらには、これらを踏まえた上で、文化財を保存するだけでなく「活用する」という文化財行政の変化の状況への対応や、積み重ねられた庭園管理技術や知見の継承にも努める必要がある。そのために、管理を受託した業者さんにわかりやすい資料を作成するなど具体的な策が取られている、とのことだ。

文化財の活用については『二条城 MICE プラン』が立てられている。これは二条城の施設の一部を会場などとして活用していくものであり、屋内・屋外において勉強会や立食などができるといって、かなり開かれた方法で二条城の保存、継承に理解を示してもらった活用である。

2日間にわたって二条城の保存状況、課題、活用について学び、知識を深めた。京都市の観光地として上位に入る二条城ですら多くの課題を抱えており、まだまだ調査研究を進めるべき課題も多くあるという実態を知ることができた。しかしながら、二条城が様々な方法でより良い文化財の保存活用法を目指し、それが実現していったならば、他の地域の文化財にとっても大いに参考になることだろう。それぞれが新たな活用法や研究課題を発見する、ということに繋がるならば、日本の文化財業界全体のパフォーマンスの底上げになるのではないかと、思われた。

国指定特別史跡・特別名勝 小石川後樂園
文化財指定 100周年記念行事



令和5年 2/4(土) ▶ 3/10(金)

9時～17時 (最終入園は16時30分)

観る

詳しくは
特設サイト
またはお電話で

伝統芸能公演 (屋外) 松原

雨天荒天中止 各回定員：150名程度
空席がある場合、当日受付

有料

事前申込み



宝生流 能楽公演

日時：2月23日(木・祝)
11:00～ 約45分
席料：800円

石森社中による里神楽

日時：2月25日(土) ※各回30分
①10:30～ ②12:30～
席料：500円

多度雅楽会東京奏楽所による舞楽

日時：2月26日(日) ※各回30分
①11:00～ ②13:00～ ③14:30～
席料：500円

無料

当日自由参加
申込み不要

変面ショーと二胡の演奏

日時：2月23日(木・祝) ※各回30分
③13:30～ ④15:00～

北辰一刀流・新田宮流抜刀術

日時：2月25日(土) ※各回30分
①13:30～ ②15:00～

出演

能楽：宝生流 高橋 憲正氏、川瀬 隆士氏ほか
里神楽：石森社中
雅楽：多度雅楽会 東京奏楽所
変面：王 文強氏
二胡：李 英姿氏
北辰一刀流：水戸東武館

伝統芸能公演 (屋内) 涵徳亭

2月24日(金) ①11:00～
②14:00～詳しくは
特設サイト
またはお電話で

有料

事前申込み



講談で語る徳川光圀(水戸黄門)

席料：500円

各回定員：50名

空席がある場合、当日受付

出演

講談：神田 真紅氏
落語：立川 成幸氏

コラボ企画

文京ふるさと歴史館 ⇄ 小石川後楽園

場所：上記2施設

期間：令和5年2月4日(土)～3月10日(金)

特典：チケットのご提示で入園料・入館料が割引

※期間中、ふるさと歴史館で小石川後楽園パネル展示の紹介コーナーがあります！

ふるさと歴史館収蔵品展「杉田直樹と仲間たち 文三・潤一郎・茂吉」【会期：2月11日(土)～3月19日(日)】

ふるさと歴史館ミニ企画「一高生の日記」【会期：令和4年度中】

※内容等はふるさと歴史館HP等でご確認ください。

文京ふるさと歴史館：文京区本郷4-9-29 電話03-3818-7221

開館時間：午前10時～午後5時

宝生能楽堂 ⇄ 小石川後楽園

場所：宝生能楽堂(文京区本郷1-5-9 電話03-3811-4843)

期間：令和5年2月4日(土)～18日(土)

特典：上記期間の小石川後楽園入園券を、2月18日(土)の五雲能当日券購入時にご提示いただくと「一般券を500円引」、「学生券を250円引」の特別優待(※前売券及び年間券での優待はなし、現金のみ対応)。

場所：小石川後楽園

期間：令和5年2月18日(土)～3月10日(金)

特典：令和5年2月18日(土)の五雲能半券をご提示いただいた方に、小石川後楽園オリジナルクリアファイルを進呈。

ほかにもあります……

梅にちなんだ関連行事やコラボ企画、記念グッズや「びいどろ茶寮」特別メニューなど、特設サイトでご紹介していきます。

学ぶ

記念講演会

3月4日(土) 13:00~15:30

無料
申込み

会場：文京シビックホール会議室(文京シビックセンター3階 文京区春日1-16-21)
 内容：東京の貴重な文化財である小石川後楽園の魅力を造園学の専門家がお伝えします。
 また、パネル展についてわかりやすく解説、庭園の奥深さに触れる講演会です。
 講師：龍居 竹之介氏(一般社団法人 日本庭園協会名誉会長)
 亀山 章氏(東京農工大学名誉教授)
 加藤 元信氏(文京区アカデミー推進課文京ふるさと歴史館学芸員)

詳しくは
特設サイト
またはお電話で

定員：80名

パネル展示
~後楽園は遺った~

前期 3月1日(水)~5日(日) 10:00~17:00

後期 3月6日(月)~9日(木) 10:00~17:00

会場：[前期] 日中友好会館美術館1階(文京区後楽1-5-3)※小石川後楽園となり
 [後期] ギャラリーシビック(文京シビックセンター1階 文京区春日1-16-21)
 内容：作庭から4世紀弱、文化財指定から100年、東京都心部に遺された
 貴重な文化遺産の歴史や文化を絵画や写真等の関係資料を使って紹介します。

申込不要
無料

子ども歴史検定

2月4日(土)~3月10日(金)

内容：小石川後楽園と周辺地域の過去100年にまつわる問題にチャレンジ!解答を窓口にご提示された方に、素敵な
 プレゼントを差し上げます。(先着100名様) 参加方法：窓口にて問題用紙を配布します。

対象：小学生、中学生(問題は2種類) 注意：小学生のご入園には保護者の同伴をお願いいたします。

体験する

申込不要
無料

重ね押しスタンプラリー

2月4日(土)~3月10日(金)

内容：小石川後楽園を含む8か所のうち5か所をめぐる
 スタンプを押します。色がどんどん重なり、最後に
 一枚の絵が完成します。

場所：小石川後楽園、東京ドームシティ、日中友好会館、文京ふるさと歴史館
 メトロ後楽園駅、メトロ飯田橋駅、JR水道橋駅

文化財指定100周年記念「梅」植樹式

3月5日(日) 11:00~(30分程度)

内容：小石川後楽園と深い所縁のある、水戸の偕楽園から譲り受けた「梅」を、梅林に植樹します。
 文京区の小学生にお手伝いいただきます。

お申込み・お問合せは 小石川後楽園サービスセンター

【特設サイト】 <https://www.tokyo-park.or.jp/special/pickup/korakuen100th.html>

小石川後楽園100周年

検索



【電話】03-3811-3015 受付時間9:00~17:00

【会費納入のお願い】

学会費の納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしく
 お願いします。また、過年度滞納の方は併せて納入のほ
 どよろしくお願いします。

協力者：森本(植彌加藤造園株式会社)

日本庭園学会広報委員会

今江秀史、加藤友規

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-1

京都芸術大学日本庭園研究センター気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342